



開田小学校だより

令和7年 8月29日（金）文責：草間隆志



学校 HP も
のぞいてください

夏休みのおもいで



いwnなつかみ大会

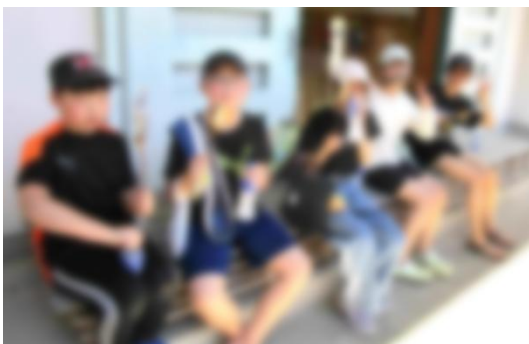


親子レク

「やった、捕まえた!」「今捕ったのに、逃げちゃった!」「逃げちゃうから早く写真撮って!」
いwnなつかみ大会では、子どもたちがびしょ濡れになりながらいwnなを捕まえていました。

今年は、全学年が親子レクでいwnなを焼いて食べました。さすがは開田の保護者の皆様、手際よくわたを抜いて串に刺し、丁度よい火の加減で焼いていました。高学年の子たちが、はさみの入れ方やわたの抜き方を職員にレクチャーする姿も見られました。おとしの開田巡り（トラウキャツプ ヴィー）での経験が生かされていると感じました。

この日のために、PTA 校外指導部の皆さんは、草刈りなど小川周辺の整備をしてくださいました。PTA 総務部の皆さんは、親子レクのために細かな計画を立て準備をしてくださいました。おかげさまで、子どもたちにとって楽しくおいしい思い出になりました。ありがとうございました。

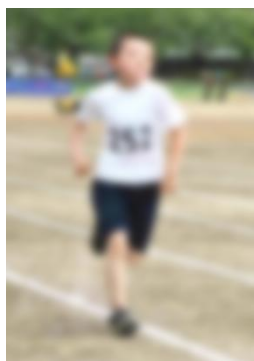


CS駄菓子屋横丁

いwnなつかみ大会の後は、開田小応援団の皆さんによる駄菓子屋横丁がありました。手持ちのお金券、遊び券をどのように使うのか、自分で考えることもよい勉強になりますね。なかには、大好きなゼリーを大量に買い込む子や時間をかけて悩んだ末にぬいぐるみを購入する子がいました。

開田小応援団の皆様には、毎年子どもたちが気軽に楽しく買い物できるように工夫していただいています。ありがとうございました。

木曽郡総合スポーツ大会 陸上競技大会



7月27日（日）、大桑村スポーツ公園陸上競技場で陸上大会があり、5名の児童が出場しました。昨年のような炎天下ではなかったものの、時折強い日差しが照り付ける中、子どもたちはそれぞれの目標に向かってチャレンジしました。

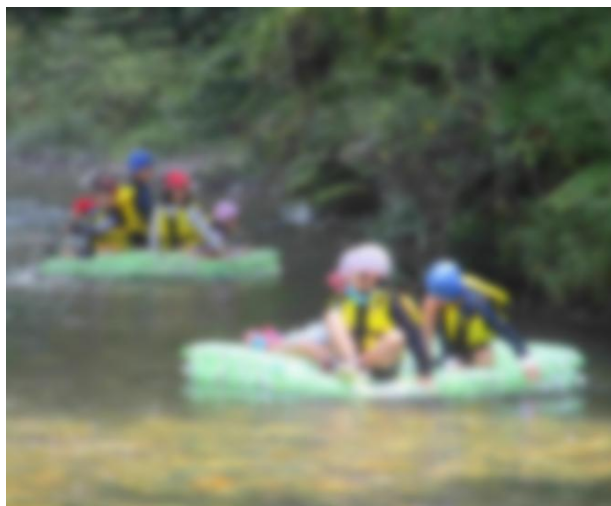
この大会には、中高生や一般選手も出場しています。より技術的でダイナミックな動きをする彼らの動きに、小学生からは歓声があがっていました。いつか、あのような動きを身に付けられるといいですね。



避難訓練

8月25日（月）に大地震の発生を想定した避難訓練を行い、その後、末川の氾濫を想定した高台への避難訓練も行いました。子どもたちは、緊張感をもち冷静な行動で安全に避難することができました。

学校の危機管理対策は日々更新されており、最近では「大地震の際に校庭に避難するよりも、耐震構造の優れた校舎内にとどまった方が安全なのではないか」とも言われています。そして、何よりも、子ども自身の安全意識を高めることが重要だということです。普段からアンテナを高く張り、いざというときに最善の行動がとれるようにしていきたいと思います。



1・2年生 末川で舟遊び

1学期、「ペットボトルで作った舟で末川を下りたい」と願った1・2年生は、地域に呼びかけてたくさんのペットボトルを集めました。そして、テープを張り合わせて立派な舟を作り上げました。

8月26日は、出航の日です。前日の雨で末川の水量が増えていたため、例年のように座礁することなく穏やかに航海を楽しむことができました。それにしても、川の水は想像以上に冷たく、帰校する頃には25℃を超える気温ながら「寒い、寒い」と震えていました。舟下りのほかにも、面白い形をした流木やきれいな色の石を見つけた子どもたちは、開田高原の大自然を存分に味わっていました。

PTA 小中合同資源物回収

8月23日（土）、PTA 小中合同資源物回収があり、各地区からたくさんの空き缶や段ボール等が中学校に集められました。開田中学校の生徒の皆さんも、暑い中、黙々と回収や仕分けをしてくださいました。

三中学校統合を見据え、今年度の資源回収の収益は全て開田小学校 PTA 会計の収入となります。ご協力、ありがとうございました。

【 お知らせ 】

○スクールカウンセラー[]とお話しませんか？（再掲）

→9月8日（月）の午前中、スクールカウンセラーの片岡先生がお見えになります。スクールカウンセラーは、児童だけではなく保護者の相談事や悩み事も親身に聞いてくださいます。お時間を調整しますので、お気軽に学校[]にご連絡ください。



今、2学期にがんばりたいことを発表してくれた1・2年のみなさんからは、「よーし！がんばるゾウ」という気持ちが伝わってきましたね。

楽しい夏休みも終わりました。今日から2学期がスタートします。

長い2学期も「自律」「共生」「ふるさと」の力を伸ばしてほしいです。その中の「自律」「自分で考え、自分で決めて、自分から行動する」ことについて、「サイではなく、ゾウになろう」という話をします。

ここで言うサイは動物のサイではありません。先生やおうちの人・周りの人から言われる「明日は、〇〇を持ってきてくだサイ。」「宿題をしなサイ。」「片付けなサイ。」「ゲームをやめなサイ。」と言われてしまう「～しなサイ。」のサイです。周りの人から、指示されたり、お小言を言われたりする『サイ』にならないようにしようという意味です。

では、ゾウはどんなゾウだと思いますか？もちろん、ゾウも動物のゾウではありません。「早く起きるゾウ。」「忘れ物しないゾウ。」「宿題するゾウ。」「片付けるゾウ。」「ゲームをやめるゾウ。」という自分から行動する「～するゾウ。」のゾウです。自分から行動する『ゾウ』ですから、「自分で考え、自分で決めて、自分から行動する」『自律』のことですね。

ぜひ、この2学期、「サイではなく、ゾウになろう」と考えて、行動してほしいです。

普段の生活だけでなく2学期のめあてや目標もそうですね。先ほどの1・2年生の発表のように「〇〇をがんばるゾウ！」と決め、そして、決めるだけでなく行動ができるように、全校のみなさんもまずは目標を決めてください。そして、実行し達成して、自分の力でやり遂げるうれしさや自信を感じてほしいと思います。開田小のみなさんならできます。ぜひ、がんばってください。

それから「ふるさと」について、1学期は各学年で“開田科は何をしようかな”と考え、決定して、活動がスタートしたと思います。『開田科』は開田小学校でとても大切にしている学習です。長い2学期は、スタートした活動を「もっとこうしたい」「こうなるといいなあ」と実現させていきましょう。そして、ワクワク・ドキドキが一杯つまった開田科になるようにしていきましょう。

さあ、84日間の1年間で一番長い学期の始まりです。「よーし！がんばるゾウ」という気持ちでスタートを切りましょう。

保護者の皆様・地域の皆様 2学期もよろしくお願いいたします!!

学習指導要領において、「何を学ぶか」という学びの中身と共に「どのように学ぶか」という学び方、学びの姿勢も大事にされています。その学び方の柱となっているのが、「主体的・対話的な深い学び」です。その中の「主体的」にスポットをあてると、「サイとゾウ」の話となります。

日々の生活において、子どもたちは、指示に従って活動する場面が多くみられます。「早く、朝ご飯を食べなさい。」「忘れ物がないか、もう一度確認しなさい。」「友達と仲良くしなさい。」「丁寧に掃除をしなさい。」「宿題をやりなさい。」「早く寝なさい。」…。家庭でも学校でも「〇〇しなさい」と、指示され（時に命令され）活動している姿は、主体的とは言えません。

「主体的」な姿とは、「〇〇するぞう」と、自分から行動することです。指示された活動より自ら考え活動することで、その内容は高まり、生きて働く力となります。そこで、大事なことは、どのようにして「〇〇するぞう」という意欲をもたせるのかです。

あたかも自ら進んで活動（思考）したかのように思わせるための、気づかれない配慮と導きが必要です。それは、声かけであったり、時間であったり、秘密の小道具であったり、時と場合で様々ですが、大事なことは、目の前の子どもの状況とその特性をよくよく見極め、その子にふさわしい配慮と導きをすることです。注意点は、何も手をかけず、主体的になることを待つだけということにならないように。気づかれない配慮と導きは、大人の役目です。そして、「〇〇するぞう」となったときには、まずそのことを大いに褒めてあげましょう。結果にかかわらず、褒めてあげましょう。そのことが、次の「ぞう」につながります。

学校と家庭と地域が、子どもの主体性を育むことで、子どもたちは自信をもって生きていけることと思います。ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

2学期は、運動会・マラソン大会・人権参観日・修学旅行や社会見学など、子どもたちが力を発揮したり、がんばってきた成果を発表したりする機会がたくさんあります。ぜひ、子どもたちの様子を応援しに、学校にお出かけください。